

うたしや 築地俊造

With RIKKI Vol.5

古代万葉語を想わせる歌（奄美島唄）がある！
太陽の島・奄美群島に現在も生き続ける



11月11日(月) 夜7時 アイビツト目白

photo by TAKAARI Aoto

築地俊造プロフィール

- 1934年 奄美大島、笠利町生まれ。
父は島の唄者(奄美では、優れた島唄の歌い手を唄者「うたしや」と呼ぶ)だったが、本人は青年期まで歌うことがなかった。
30代の中ごろ奄美に帰郷。近所から毎晩のように聞こえてくる三線(サンシン)の音色に魅かれて島唄を始めようと思った。
その当時、福島幸義が講師をしていたセントラル楽器の島唄教室に通った。受講者は一人だけだった。半年程でほとんどの唄を覚えた。
- 1975年 第一回奄美民謡新人大会で新人賞を獲得。
1978年 第2回アジア伝統芸能大会に出演。
1979年 幅広い高音域をフルに生かした「まんこい節」で「第2回日本民謡大賞 全国大会」で大賞に輝き、全国の民謡ファンに奄美島唄の独自性を強烈に印象づけた。この民謡日本一によって、これまであまり歌われることのなかった「まんこい節」が一躍ポピュラーな存在となった。
- 1980年 浅草国際劇場で日本テレビ主催による初リサイタルを開く。
1981年 フランス、レンヌ市で開かれた「第8回国際伝統音楽祭」に招待され、島唄を初めて海外で披露。
1987年 アメリカ、スミソニアン博物館主催「アメリカンフォークライブ」に出演。
1992年 東京で開かれたワールドミュージックのフェスティバル「コンダ・ロータ」に参加。
1997年 フランス、カンヌ国際音楽祭に出演。
1999年 ルーマニア「日本芸術文化祭」出演など、海外での評価も高い。
東京での定例公演は、1988年より13年間開いてきた渋谷ジャン・ジャンが閉館した為、2000年よりアイビット目白で再スタートした。
1992年7月、島唄に新たな挑戦を試み、電気楽器(Eギター、Eベース、シンセサイザー)をバックにライブ録音し、Sony Recordより初のCDアルバム「うたしや 築地俊造ライブ」を発売した。
築地はこれまでに国内外と様々な舞台を経験、その舞台演出には定評がある。島唄の生命線とも言われている即興性に重点をおいた「柔軟な」俊造節」にかかる期待は大きい。



2002年 11月11日(月)

開場:午後6時30分
開演:午後7時
入場料:3,000円(全自由席)
チケット問合せ:☎03-3298-1419/03-3298-1427
(ティグ トリーム)
☎03-3419-6318(K・企画)
<K・企画ホームページ>
<http://k-kikaku.hoops.ne.jp/>
☎03-3569-9900(ロ-ソソチケット)
[Lコード:38026]
(お近くのローソンで直接購入できます)

RIKKI(リッキ)プロフィール

1975年奄美大島生まれ。

4歳から島唄を歌い始め、15歳で「日本民謡大賞」のグランプリを史上最年少で獲得。
93年に本格的な活動を開始。
トラディショナルな島唄とポップスの両面を歌いこなす高い歌魂力はジャンルを越えて賞賛を浴び、活動の幅も広い。
「長良川国際ジャズフェスティバル(94年)」「アジア太平洋フェスティバル'96-ASIAN NOW(96年)」「カンヌ国際音楽祭(77年・97年)」「日本芸術文化祭(ルーマニア・99年)」等に出演。
また彼女の声に魅了されたミュージシャンも多い。
久石譲は音楽プロデュースを手掛けた98年長野パラリンピックの開会式にRIKKIを起用。また同年行われた京都・醍醐寺での同氏プロデュースの一大音絵巻イベント「醍醐寺音舞台」でも出演を果たした。
ロックバンド「THE BOOM」の宮沢和史もRIKKIの声に惚れ込んだ一人で、THE BOOMのアルバムや宮沢和史のソロ・アルバムにも起用されている。
そして2001年、宮崎駿のアニメーション映画「千と千尋の神隠し」のイメージアルバム(音楽:久石譲)へ参加し、メガ・ヒット・ゲームソフト「ファイナルファンタジーX」の主題歌「素敵だね」が約15万枚の売上を記録。「素敵だね～秋ヴァージョン～」を収録したミニアルバム「加那島～カナリア～」も好評である。
2002年8/21、アルバム「雲」を発売。同日、93年に九州地区限定発売だった、島唄アルバム「むちゃ加那」を再発売。
続けて、9/25、アルバム「シマウタTRICKLES」を発売。

間違いなく今後、日本国内だけではなく世界に知られてゆく「歌い手」である。

アイビット目白

交通:JR目白駅より徒歩5分
住所:新宿区下落合3-20-11
電話:03-3951-5888(劇場事務所)
03-3951-6011(公演当日のみ)

アイビット目白

